活用ガイド
再セットアップ編

PC98-NX シリーズ

Mate
Mate J
VersaPro
VersaPro J

（Windows XP Professionalインストールモデル）

このマニュアルは、再セットアップ方法について説明しています。

このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windowsの基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、それらを操作するためのマウスの基本的な動作がひと通りでき、Windowsもしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれています。

もし、あなたがパソコンに初めて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などでひと通り経験してから、このマニュアルをご利用になることをおすすめします。

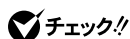
選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

仕様についての詳細は『はじめにお読みください』の「付録　機能一覧」をご覧ください。

2009年 12月 初版

このマニュアルの表記について

◆ このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

チェック!!	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
メモ	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆ このマニュアルで使用している表記の意味

本機、本体	このマニュアルの対象機種を指します。 特に周辺機器などを含まない対象機種を指す場合、「本体」と表記します。
光学ドライブ	DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブを指します。 書き分ける必要のある場合は、そのドライブの種類を記載します。
ハードディスク	ハードディスクドライブ、またはSSD(ソリッドステートドライブ)を指します。 書き分ける必要のある場合は、そのドライブの種類を記載します。
Office Personal 2007モデル	Office Personal 2007をインストールしている状態でご購入いただいたモデルを指します。
Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデル	Office Personal 2007 with PowerPoint 2007をインストールしている状態でご購入いただいたモデルを指します。
Office Professional 2007モデル	Office Professional 2007をインストールしている状態でご購入いただいたモデルを指します。
Office 2007モデル	Office Personal 2007モデル、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデル、またはOffice Professional 2007モデルを指します。
CDレスモデル	DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブがない状態でご購入いただいたモデルを指します。

用語	意味
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブを搭載、または添付しているモデルを指します。
増設ハードディスクモデル	ハードディスクを2台搭載しているモデルを指します。
RAIDモデル	ミラーリング(RAID 1)機能がご利用いただけるモデルを指します。
Standby Rescue Multiモデル	Standby Rescue Multiを添付しているモデルを指します。
アプリケーションディスク	本機添付の「アプリケーション/マニュアルディスク」、または「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」を指します。
再セットアップ用ディスク	「再セットアップ用ディスク」、または「再セットアップ用DVD-ROM」を指します。
WinDVD for NEC/Roxio Creator LJBディスク	「WinDVD for NEC/Roxio Creator LJB ディスク」、または「WinDVD for NEC CD-ROM/Roxio Creator LJB CD-ROM」を指します。
2007 Office system SP1 ディスク	「2007 Office system SP1 ディスク」、または「2007 Office system SP1 CD-ROM」を指します。
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「すべてのプログラム」を選択し、横に現れるサブメニューから「アクセサリ」→「メモ帳」を順に選択する操作を指します。
【　】	【　】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。 【Ctrl】+【Y】と表記してある場合は、【Ctrl】キーを押したまま【Y】キーを押すことを指します。
『　』	『　』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します。
BIOSセットアップユーティリティ	本文中に記載されているBIOSセットアップユーティリティは、ユーティリティ画面上では「BIOS SETUP UTILITY」、「Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility」、または「Phoenix Secure Core(tm) Setup Utility」などと表示されます(画面上の表記はお使いの機種により異なります)。

◆ このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、Windows XP	Windows® XP Professional with SP3正規版（Windows® 7 Professional正規版ダウングレード）
Windows 7、Windows 7 Professional	Windows® 7 Professional
Office Personal 2007	Microsoft® Office Personal 2007（Microsoft® Office Word 2007、Microsoft® Office Excel® 2007、Microsoft® Office Outlook® 2007）
Office Personal 2007 with PowerPoint 2007	Microsoft® Office Personal 2007（Microsoft® Office Word 2007、Microsoft® Office Excel® 2007、Microsoft® Office Outlook® 2007、Microsoft® Office PowerPoint® 2007）
Office Professional 2007	Microsoft® Office Professional 2007（Microsoft® Office Word 2007、Microsoft® Office Excel® 2007、Microsoft® Office Outlook® 2007、Microsoft® Office PowerPoint® 2007、Microsoft® Office Publisher 2007、Microsoft® Office Access 2007）

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows XPおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(7) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(8) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
(9) 本書に記載されている内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

このマニュアルの構成・読み方

「再セットアップ用ディスク」を使って本機のシステムを工場出荷時の状態に復元する方法や、Windows 7を再インストールする方法などを説明しています。

Windows XPを再セットアップする場合は、必ず「PART1　Windows XPを再セットアップする」の「システムを修復する」、「再セットアップについて」、および「再セットアップの準備」を読んだ後に、再セットアップ方法を選択し、該当するページをご覧ください。
また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載しています。
索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容（チェック!!）、メモ（メモ）を検索するのに都合の良い言葉を選んでいます。

目 次

索 引

英数字

カ行

サ行

タ行

ハ行

Windows XPを再セットアップする

Windows XPを再セットアップする方法について説明します。

この章の読み方

必ず「システムを修復する」、「再セットアップについて」、および「再セットアップの準備」を読んだ後に、再セットアップ方法を選択し、該当するページをご覧ください。

この章の内容

システムを修復する

ここでは、システム構成を変更したことで、正常にシステムが起動しなくなった場合の対処方法について説明しています。

システムの修復方法には、次の方法があります。どの方法を使うかはシステムの状況により異なりますので、次の順番で簡単な方法から試してください。

セーフモードを利用してシステムを修復
「セーフモードで起動する」(p.15)

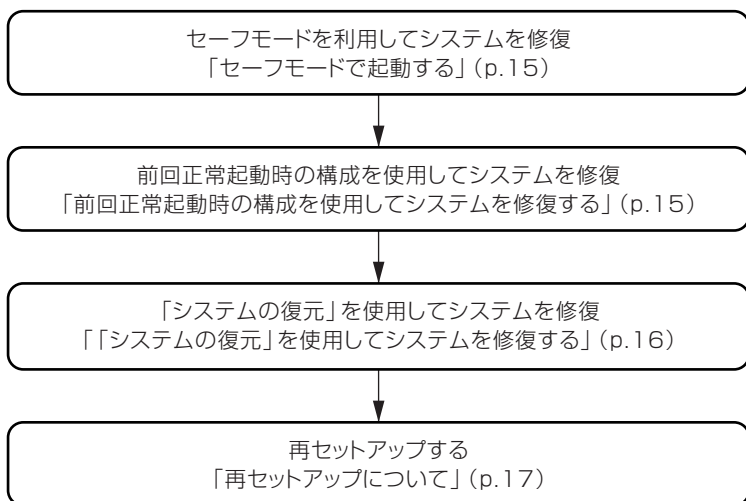
↓

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復
「前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する」(p.15)

↓

「システムの復元」を使用してシステムを修復
「「システムの復元」を使用してシステムを修復する」(p.16)

↓

再セットアップする
「再セットアップについて」(p.17)

使用しないアプリケーションを削除したい場合や、削除したアプリケーションを再追加したい場合、また、Windows XPを再セットアップした後にアプリケーションを追加したい場合は、『活用ガイド』の「アプリケーションのインストール/アンインストール」、または『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

チェック!!

いったん電源を切った後で電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。また、電源コードを抜いたり、ブレーカーなどが落ちて電源が切れた場合は、電源コードを抜いた状態で90秒以上間隔をあけてから、再度電源コードを接続し、電源を入れてください。

セーフモードで起動する

セーフモードはWindows XPの正常な起動を行えるようにするための特殊な診断モードです。以下の手順でセーフモードを起動させてください。

1 **本機の電源を入れる**

2 **「NEC」ロゴの画面が表示されたら、「Windows拡張オプションメニュー」が表示されるまで、【F8】を数回押す**

3 **「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、「セーフモード」を選択し、【Enter】を押す**

4 **「オペレーティングシステムの選択」画面が表示されたら、【Enter】を押す**

ユーザ選択画面が表示された場合は、ログオンするユーザを選択、パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザのパスワードを入力してください。

5 **「Windowsはセーフモードで実行されています。」と表示されたら「はい」ボタンをクリック**

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する

システムの構成を変更した後で、Windows XPが起動できなくなった場合は、前回正常起動時の構成を使用して、問題を解決することができます。

チェック!!

- **前回システムが正常に起動したとき以降に行った構成の変更は、すべて破棄されます。**
- **システムの構成を変更し、その後2回以上Windows XPを正常に起動した場合は、前回正常起動時の構成を使用しても、変更前のシステムの構成に戻すことはできません。**

前回正常起動時の構成を使用する場合は以下の手順で行います。

1 **本機の電源を入れる**

2 **「NEC」ロゴの画面が表示されたら、「Windows拡張オプションメニュー」が表示されるまで、【F8】を数回押す**

3 **「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、「前回正常起動時の構成(正しく動作した最新の設定)」を選択し、【Enter】を押す**

4 **「オペレーティングシステムの選択」画面が表示されたら、【Enter】を押す**

ユーザ選択画面が表示された場合は、ログオンするユーザを選択、パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザのパスワードを入力してください。

5 **「ハードウェアプロファイル/構成の回復メニュー」画面が表示されたら、【L】を押し、【Enter】を押す**

これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows XPが起動します。

「システムの復元」を使用してシステムを修復する

「復元ポイント」と呼ばれるバックアップデータを利用して、システムを復元します。
Windows XPが正常に起動しない場合は、セーフモードで起動した後、「システムの復元」を行ってください。

チェック!!

セーフモードでは、復元ポイントの作成はできません。

「システムの復元」、「復元ポイント」の詳細については「ヘルプとサポート」をご覧ください。

再セットアップについて

再セットアップを行うと、本機のシステムを復旧させることができますがハードディスクに保存したファイルは消えてしまいます。時間がかかる作業なので再セットアップが必要かどうかを確認し、以下の注意事項をお読みになってから再セットアップの準備へ進んでください。

再セットアップとは

「再セットアップ用ディスク」に入っているデータを元に、工場出荷時と同じ状態に戻す作業のことです。

再セットアップが必要になるとき

次のようなとき、本機の再セットアップが必要です。

1. トラブルによるシステムの復旧をするため

・ 電源を入れても電源ランプは点灯するが、Windows XPが動作しない。
・ ハードディスク内のプログラムが正常に動作しない。
・ システムの修復を行っても問題が解決できない。
・ セーフモードで起動しても問題が解決できない。

2. ハードディスクの設定を変更するため

・ Cドライブの容量を変更したい。
・ ハードディスクを1つのパーティションにしたい。

3. Windows XPの設定を変更するため

・ Windows XPを工場出荷時の状態に戻したい。
・ 登録した名前を変更したい。

再セットアップの種類

再セットアップには標準再セットアップモードとカスタム再セットアップモードがあります。
ここではすべての再セットアップの種類とオプションについて説明します。

標準再セットアップとカスタム再セットアップ

◎標準再セットアップ

1台目の内蔵ハードディスクを工場出荷時と同じ状態に戻します。初心者の方やハードディスクについて詳しくご存知でない方は、必ずこの方法で再セットアップしてください。

◎カスタム再セットアップ

Cドライブのみを再セットアップしたい、Cドライブの容量を変更したい場合は、この方法で再セットアップしてください。
以降の説明をご覧になり、再セットアップ方法を選択してください。

次の方法から再セットアップ方法を選択してください。

■Cドライブのみを再セットアップする

1台目の内蔵ハードディスクのCドライブのみをNTFSで再セットアップします。
Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。
2台目の内蔵ハードディスクを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます(※)。

※ Standby Rescue Multiモデルをお使いの場合、再セットアップ前に2台目の内蔵ハードディスクを未使用領域にする必要があります。

■全領域を1パーティションにして再セットアップする

1台目の内蔵ハードディスクの全領域を1つのパーティション(NTFS)にして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。

1台目の内蔵ハードディスクの内容はすべて消えます。必ずデータのバックアップをとってください。

2台目の内蔵ハードディスクを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます(※)。

■ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする

1台目の内蔵ハードディスクの領域を1GB単位(NTFS)で40GBから自由に設定して再セットアップします。

1台目の内蔵ハードディスクの内容はすべて消えます。必ずデータのバックアップをとってください。

2台目の内蔵ハードディスクを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます(※)。

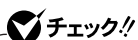
※ Standby Rescue Multiモデルをお使いの場合、再セットアップ前に2台目の内蔵ハードディスクを未使用領域にする必要があります。

チェック!!

ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト=1,000,000バイト、1Gバイト=1,000,000,000バイトで計算したときのMバイト値、Gバイト値を示しています。OSによっては、1Mバイト=1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト=1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

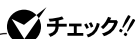
◎オプション

■2台目の内蔵ハードディスクの内容を削除(Standby Rescue Multiモデル用)

チェック!!

Standby Rescue Multiモデルのみ使用できます。
対象モデルでない場合は、使用しないでください。

Standby Rescue Multiモデルで2台目の内蔵ハードディスクにフォーマット済みの領域が確保されていると、正しく再セットアップできません。
2台目の内蔵ハードディスクの必要なデータをバックアップした後、2台目の内蔵ハードディスクドライブを未使用領域にした後に、再セットアップしてください。

■2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット

チェック!!

増設ハードディスクモデルのみ使用できます。
対象モデルでない場合は、使用しないでください。

再セットアップでは2台目の内蔵ハードディスクはフォーマットされません。2台目の内蔵ハードディスクをフォーマットしたい場合は、再セットアップモード選択画面で「2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット」を選択し、フォーマットした後は「標準再セットアップ」、または「カスタム再セットアップ」を行ってください。

■ハードディスクのデータ消去

本機のハードディスクのデータを消去します。
ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、通常(OS標準のハードディスクのフォーマット機能)では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。
本機を譲渡、または廃棄する場合にご利用ください。
使用方法については、「PART3 付録」の「ハードディスクのデータ消去」(p.41)をご覧ください。

再セットアップの準備

ここでは、再セットアップをする前の必要な準備について説明しています。再セットアップする前に必ずお読みください。

必要なものをそろえる

再セットアップには少なくとも次のものが必要です。作業に入る前にあらかじめ準備しておいてください。

チェック!!

- **CDレスモデルをお使いの方は、別売の光学ドライブを用意してください。**
- **「再セットアップ用ディスク」が添付されていないモデルをお使いの場合は、「PART3 付録」の「「再セットアップ用ディスク」を購入する」(p.40)をご覧になり購入してください。**

- 『はじめにお読みください』
- 「アプリケーションディスク」(Windows XP用)
- 「再セットアップ用ディスク」(Windows XP用)

＜Office Personal 2007モデルをお使いの場合＞

- 「Office Personal 2007」のCD-ROM
- 「2007 Office system SP1ディスク」

＜Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデルをお使いの場合＞

- 「Office Personal 2007」のCD-ROM
- 「Office PowerPoint 2007」のCD-ROM
- 「2007 Office system SP1ディスク」

＜Office Professional 2007モデルをお使いの場合＞

- 「Office Professional 2007」のCD-ROM
- 「2007 Office system SP1ディスク」

＜DVDスーパーマルチドライブモデルをお使いの場合＞

- 「WinDVD for NEC / Roxio Creator LJBディスク」

ハードディスクのデータのバックアップをとる

再セットアップを行うと、ハードディスク内に保存しておいたデータやアプリケーションはすべて消えてしまいます。消したくないデータがある場合は、データのバックアップをとってから再セットアップしてください。

チェック!!

- マルチユーザーでお使いの場合は、それぞれのユーザー名でログオンし、データのバックアップをとってください。
- Standby Rescue Multiモデルで残しておきたいデータが2台目の内蔵ハードディスクにある場合は、『活用ガイド』、または『活用ガイド ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」にある「再セットアップ前の注意事項」をご覧ください。

使用環境の設定を控える

再セットアップを行うとBIOSセットアップユーティリティの設定やネットワークの設定など、再セットアップ後にはすべて工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

BIOSセットアップユーティリティの設定値を元に戻す

再セットアップを行う前にBIOSセットアップユーティリティの設定値を工場出荷時の状態に戻してください。

チェック!!

CDレスモデルで別売の光学ドライブを使用して再セットアップを行う場合は、本機に添付の「本機をお使いの方へ」をご覧になり、BIOSセットアップユーティリティの設定を変更してから再セットアップを開始してください。
なお、再セットアップが終了したら元の状態に戻してください。

参照 工場出荷時の設定値に戻す方法→『活用ガイド』または『活用ガイド ハードウェア編』の「システム設定」

機器の準備をする

次の準備を行ってください。

◎無線機能をオフにする

無線LANなどの無線機能が内蔵されているモデルの場合は、無線機能がオフになっていることを確認してください。無線機能がオンになっている場合は、再セットアップの前にオフにしてください。

◎本機の電源を切る

スタンバイ状態や休止状態になっている場合は、復帰してから電源を切ってください。

◎周辺機器を取り外す

『はじめにお読みください』をご覧になり周辺機器を取り外して、購入時と同じ状態にしてください(光学ドライブを除く)。

チェック!!

本機にLANケーブルが接続されている場合は、再セットアップを開始する前にいったん取り外してください。
デュアルディスプレイ機能を使用している場合は、2台目のディスプレイを取り外してください。

◎ACアダプタを接続する

バッテリ駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続してください。

再セットアップ時の注意(共通)

再セットアップするときには必ず次の注意事項を守ってください。

◎再セットアップする前にデータのバックアップをとる

Cドライブやデータ領域(Dドライブなど)にデータなどを保存している場合は、必ずバックアップをとってから再セットアップを行ってください。

◎マニュアルに記載されている手順通りに行う

再セットアップするときは、必ずこのマニュアルに記載されている手順を守ってください。手順を省略したり、画面で指示された以外のキーを押したり、スイッチの操作をすると、正しく再セットアップできないことがあります。

◎ダイナミックディスクについて

・1台目の内蔵ハードディスクをダイナミックディスクにしている場合は、「標準再セットアップ」を行ってください。

・2台目の内蔵ハードディスクをダイナミックディスクにしている場合は、必要なデータをバックアップしたあと、2台目の内蔵ハードディスクをベーシックディスクに変更してから再セットアップしてください。Windows上でベーシックディスクに変更できない場合は再セットアップの選択画面で、「2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット」を選択するとベーシックディスクに変更できます。

◎電源を入れるとき

手順に従っていったん電源を切った後で電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。また、電源コードを抜いたり、ブレーカーなどが落ちて電源が切れた場合は、電源コードを抜いた状態で90秒以上間隔をあけてから、再度電源コードを接続し、電源を入れてください。

◎再セットアップは途中でやめない

いったん再セットアップを始めたら、再セットアップの作業を絶対に中断しないでください。作業を中断すると故障の原因となります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアップププログラムは動作していますので、再セットアップを中断せず、そのままお待ちください。万が一再セットアップの作業を中断してしまった場合は、正しく再セットアップされていない可能性があるので、再セットアップを最初からやり直してください。

◎再セットアップができないとき

「本機では再セットアップすることが出来ません」と表示された場合は、機種情報が書き換わっている可能性があります。弊社修理受付窓口にご相談ください。

参照 『保証規定＆修理に関するご案内』

◎再セットアップ中は長時間放置しない

再セットアップが終了し、いったん電源を切るまで、再セットアップ中でキー操作が必要な画面を含み、本機を長時間放置しないでください。

◎再セットアップ後の状態について

ご購入後にインストールしたアプリケーションや作成されたデータは復元されません。再インストールしてください。また、再セットアップ後に周辺機器の設定はすべて初期状態になります。もう一度設定し直してください。

チェック!!

Cドライブ以外のドライブにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要になる場合があります。再セットアップ後にアプリケーションがうまく動作しなくなった場合は、アプリケーションを再インストールしてみてください。

再セットアップ時の注意(Mate、Mate J)

◎RAIDモデルについて

RAIDモデルをご利用の場合は、再セットアップ前に、ミラーリングが正常(Normal)に設定されている必要があります。Windowsの再セットアップ作業に入る前にディスクアレイ情報を確認してください。

チェック!!

ディスクアレイ情報の確認、およびディスクアレイの状態変更方法については、『活用ガイド』の「「Intel® Rapid Strage Technology」について」にある「再セットアップ前の注意事項」をご覧ください。

◎Standby Rescue Multiモデルについて

2台目の内蔵ハードディスクにフォーマット済みの領域が確保されていると、正しく再セットアップできません。2台目の内蔵ハードディスクの必要なデータをバックアップした後、2台目の内蔵ハードディスクドライブをすべて未使用領域にしてから、再セットアップしてください。

チェック!!

残しておきたいデータが2台目の内蔵ハードディスクにある場合は、『活用ガイド』、または『活用ガイド　ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」にある「再セットアップ前の注意事項」をご覧ください。

これで「再セットアップ」の準備がすべて整いました。
次ページの「Windows XPを再セットアップする」をご覧になり、本機を再セットアップしてください。

再セットアップ時の注意(VersaPro、VersaPro J)

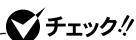
バッテリ駆動では再セットアップできません。必ずACアダプタを接続してから再セットアップしてください。

これで「再セットアップ」の準備がすべて整いました。
次ページの「Windows XPを再セットアップする」をご覧になり、本機を再セットアップしてください。

Windows XPを再セットアップする

「再セットアップ用ディスク」を使用して、本機を再セットアップします。

再セットアップする

チェック!!

必ず本機の電源が切れている状態から作業を行ってください。

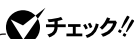
1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「アプリケーションディスク」を光学ドライブにセットする

3 「Windows再セットアップ」画面が表示されたら、「再セットアップ用DVD-ROMを使用して再セットアップを開始する」または「再セットアップ用ディスクを使用して再セットアップを開始する」を選択し、【Enter】を押す

次に標準再セットアップする場合は、「標準再セットアップする」(p.28)へ、カスタム再セットアップする場合は、「カスタム再セットアップする」(p.30)へ進んでください。

標準再セットアップする

標準再セットアップする

チェック!!

Standby Rescue Multiモデルをお使いの場合、2台目の内蔵ハードディスクにフォーマット済みの領域が確保されていると、正しく再セットアップできません。「2台目の内蔵ハードディスクの内容を削除(Standby Rescue Multiモデル用)」を選択し、ハードディスクを未使用領域にした後に、再セットアップしてください。

1 「Windows XPの再セットアップを行います。」と表示されたら、注意事項をよく読んでから【Enter】を押す

2 「Windows再セットアップ」画面が表示されたら、「標準再セットアップする(強く推奨)」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。
次に「Windows XPの設定をする」(p.29)へ進んでください。

Windows XPの設定をする

Windows XPのセットアップを行います。

◎Windows XPのセットアップ

『はじめにお読みください』の「Windowsのセットアップ」をご覧になり、Windows XPのセットアップを行ってください。

チェック!!

Windows XPのセットアップが終了したら、いったん電源を切った後、『はじめにお読みください』の「使用する環境の設定と上手な使い方」をご覧になり、必要に応じて各種の設定などを行ってください。

次に「◎各アプリケーションを再インストールする」へ進んでください。

◎各アプリケーションを再インストールする

ご購入時にインストールされていたOffice Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007、またはOffice Professional 2007、およびRoxio Creator LJBの各アプリケーションを再インストールしてください。
再インストールの方法は、『活用ガイド』の「アプリケーションのインストール/アンインストール」、または『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

次に「◎ご購入後に行った設定をやり直す」へ進んでください。

◎ご購入後に行った設定をやり直す

ご購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなります。再度、設定してください。別売の周辺機器がある場合は接続して設定し直してください。ネットワークの設定なども再設定してください。また、本機に添付していたアプリケーションや別売のアプリケーションをインストールしていた場合も再インストールしてください。

以上でWindows XPの再セットアップは終了です。

カスタム再セットアップする

カスタム再セットアップする

チェック!!

Standby Rescue Multiモデルをお使いの場合、2台目の内蔵ハードディスクにフォーマット済みの領域が確保されていると、正しく再セットアップできません。「2台目の内蔵ハードディスクの内容を削除(Standby Rescue Multiモデル用)」を選択し、ハードディスクを未使用領域にした後に、再セットアップしてください。

1 「Windows XPの再セットアップを行います。」と表示されたら、注意事項をよく読んでから【Enter】を押す

2 「Windows再セットアップ」画面が表示されたら、「カスタム再セットアップする」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の操作は、再セットアップ方法により異なりますので、それぞれのページへ進んでください。

・「Cドライブのみを再セットアップする」(p.31)
・「全領域を1パーティションにして再セットアップする」(p.31)
・「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」(p.32)

Cドライブのみを再セットアップする

CドライブのみをNTFSで再セットアップしたい場合は、この方法で行います。

チェック!!

- **お客様の環境によっては、再セットアップ前に割り当てていたドライブ文字またはパスの順番が変わってしまう場合があります。その場合は手動で割り当ててください。**
- **パーティションが存在しない状態では、この方法で再セットアップすることはできません。**

1 **「Windows再セットアップ」画面が表示されたら、「Cドライブのみを再セットアップする」を選択し、【Enter】を押す**

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windows XPの設定をする」(p.29)へ進んで、その後の操作を行ってください。

全領域を1パーティションにして再セットアップする

全領域を1パーティション(NTFS)にしたい場合は、この方法で行います。

1 **「Windows再セットアップ」画面が表示されたら、「全領域を1パーティションにして再セットアップする」を選択し、【Enter】を押す**

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windows XPの設定をする」(p.29)へ進んで、その後の操作を行ってください。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする

Cドライブの領域を変更したい場合は、この方法で行います。
Cドライブの領域を1GB単位(NTFS)で40GBから自由に設定して再セットアップすることができます。

チェック!!

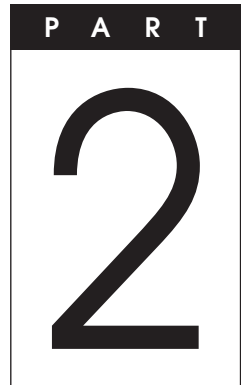
指定できるサイズの最大値はハードディスクの容量より、数GB小さい値※です。
全領域を1パーティションにしたい場合は、「全領域を1パーティションにして再セットアップする」(p.31)をご覧ください。
※ お使いの環境により異なります。再セットアップ画面に表示される値を確認してください。

1 「Windows再セットアップ」画面が表示されたら、「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

チェック!!

ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト=1,000,000バイト、1Gバイト=1,000,000,000バイトで計算したときのMバイト値、Gバイト値を示しています。
OSによっては、1Mバイト=1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト=1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windows XPの設定をする」(p.29)へ進んで、その後の操作を行ってください。

Windows 7を再インストールする

この章の読み方

Windows 7の再インストール方法について説明しています。

この章の内容

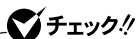
Windows 7を再インストールする

はじめに

本機には、本機添付の『マイクロソフト　ソフトウェア　ライセンス条項』をお読みになったお客様からのご依頼により、弊社がお客様のかわりにWindows 7 Professionalのライセンス条項に付帯するダウングレード権を行使してWindows XP Professionalをプリインストールしています。
そのため、別途ライセンスをご購入することなくWindows 7 Professionalをご使用いただくことが可能です。
ここでは、Windows 7 Professionalを再インストールする手順について説明します。

必要なものをそろえる

再インストールには次のものが必要です。作業に入る前にあらかじめ準備しておいてください。

チェック!!

CDレスモデルをお使いの場合は、別売のDVD-ROMの読み込み可能な光学ドライブを用意してください。

- 『はじめにお読みください』
- 「アプリケーションディスク」(Windows 7用)
- 「再セットアップ用ディスク」(Windows 7用)

＜Office Personal 2007モデルをお使いの場合＞

- 「Office Personal 2007」のCD-ROM
- 「2007 Office system SP1 ディスク」

<Office Personal 2007 with PowerPoint 2007モデルをお使いの場合>

- 「Office Personal 2007」のCD-ROM
- 「Office PowerPoint 2007」のCD-ROM
- 「2007 Office system SP1 ディスク」

<Office Professional 2007モデルをお使いの場合>

- 「Office Professional 2007」のCD-ROM
- 「2007 Office system SP1 ディスク」

<DVDスーパーマルチドライブモデルをお使いの場合>

- 「WinDVD for NEC / Roxio Creator LJB ディスク」

ハードディスクのデータのバックアップをとる

- 再インストールを行うと、ハードディスク内に保存しておいたデータやアプリケーションはすべて消えてしまいます。消したくないデータがある場合は、データのバックアップをとってから再インストールしてください。
- Standby Rescue Multiモデルで残しておきたいデータが2台目の内蔵ハードディスクにある場合は、『活用ガイド』、または『活用ガイド　ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」にある「再セットアップ前の注意事項」をご覧ください。

使用環境の設定を控える

再セットアップを行う前にBIOSセットアップユーティリティの設定値を工場出荷時の状態に戻してください。また、ネットワークの設定なども再セットアップ後にはすべて工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

参照　**工場出荷時の設定値に戻す方法→『活用ガイド』、または『活用ガイド　ハードウェア編』の「システム設定」**

機器の準備をする

次の準備を行ってください。

- 無線機能をオフにする
- 本機の電源を切る
- 周辺機器を取り外す
- ACアダプタを接続する

再インストール時の注意

・ Windows 7の再インストール中、いったん電源を切った後で電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。また、電源コードを抜いたり、ブレーカーなどが落ちて電源が切れたりした場合は、90秒以上間隔をあけてから電源を入れてください。

・ 再インストールを始めたら、再インストールの作業を絶対に中断しないでください。
作業を中断すると故障の原因となります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していますので、再インストールを中断せず、そのままお待ちください。
万が一、再インストールの作業を中断してしまった場合、正しく再インストールされていない可能性があります。再インストールを最初からやり直してください。

Windows 7を再インストールする

必ず本機の電源が切れている状態から作業を行ってください。

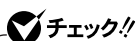
1 **本機の電源を入れる**

2 **電源ランプがついたら、すぐにWindows 7用の「アプリケーションディスク」を光学ドライブにセットする**

3 **「Windows再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ用ディスクを使用して再セットアップを開始する」を選択し、【Enter】を押す**

4 「Windows 7の再セットアップを行います。」と表示されたら、注意事項をよく読んでから【Enter】を押す

5 「Windows再セットアップ」画面が表示されたら、「標準再セットアップする(強く推奨)」を選択し、【Enter】を押す

チェック!!

必ず「標準再セットアップする(強く推奨)」を選択してください。

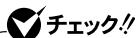
これ以降は画面の指示に従ってください。
次の「Windows 7の設定をする」へ進んでください。

Windows 7の設定をする

Windows 7のセットアップを行います。

◎Windows 7のセットアップ

『はじめにお読みください』の「Windowsのセットアップ」をご覧になり、Windows 7のセットアップを行ってください。

チェック!!

Windows 7のセットアップが終了したら、いったん電源を切った後、『はじめにお読みください』の「使用する環境の設定と上手な使い方」をご覧になり、必要に応じて各種の設定などを行ってください。

次に「◎各アプリケーションを再インストールする」へ進んでください。

◎各アプリケーションを再インストールする

ご購入時にインストールされていたOffice Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007、またはOffice Professional 2007、およびRoxio Creator LJBの各アプリケーションを再インストールしてください。
再インストールの方法はWindows 7用の「アプリケーションディスク」に格納されている『活用ガイド』の「アプリケーションのインストール/アンインストール」、または『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

次に「◎ご購入後に行った設定をやり直す」へ進んでください。

◎ご購入後に行った設定をやり直す

ご購入後に行った設定は、再インストールによってすべて失われます。再度、設定してください。別売の周辺機器がある場合は接続して設定し直してください。ネットワークの設定なども再設定してください。また、別売のアプリケーションをインストールしていた場合も再インストールしてください。

以上でWindows 7の再インストールは終了です。

再インストール後の注意

・ Windows 7の再インストール後は、Windows XP用の「アプリケーションディスク」はご利用になれません。Windows 7用の「アプリケーションディスク」をご利用ください。

メモ

Windows 7用に添付されているアプリケーションについては、『活用ガイド』の「アプリケーションのインストール/アンインストール」、または『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「便利なアプリケーション」をご覧ください。

・ Windows 7の再インストール後は、Windows 7用の再セットアップ用データが作成されるため、ハードディスクの容量が約6GB少なくなります。

なお、本製品にはWindows 7用の『活用ガイド　再セットアップ編』は添付されておりません。別途、購入またはWeb にて閲覧することが可能です。

①「NEC PC マニュアルセンター」(購入)
http://pcm.mepros.com/

②「電子マニュアルビューア」(閲覧)
http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

・ 再度Windows XPを利用する場合は、必ず「標準再セットアップする(強く推奨)」を選択してください。Windows XPの再セットアップ方法については、「PART1 Windows XPを再セットアップする」(p.13)をご覧ください。

PART

3

付　録

この章の読み方

「再セットアップ用ディスク」の購入方法や本機を譲渡、または廃棄する場合のハードディスクデータの消去方法について説明しています。目的にあわせて該当するページをお読みください。

この章の内容

「再セットアップ用ディスク」を購入する

「再セットアップ用ディスク」を購入する

再セットアップ媒体(「再セットアップ用ディスク」)を紛失したり破損したりした場合は購入できます(有償)。
お買い求めの際は、以下の「PC98-NXシリーズ　メディアオーダーセンター」のホームページにアクセスしてください。

PC98-NXシリーズ　メディアオーダーセンター

http://nx-media.ssnet.co.jp/

ハードディスクのデータ消去

ハードディスクのデータ消去について

チェック!!

『はじめにお読みください』をご覧になり、周辺機器を取り外して、ご購入時と同じ状態にしてください。

ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、OS標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。
本機を譲渡、または廃棄する場合にご利用ください。
本機を譲渡、または廃棄する場合は、『活用ガイド』、または『活用ガイド ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」の「譲渡、廃棄、改造について」もあわせてご覧ください。

チェック!!

- ハードディスクのデータ消去には光学ドライブが必要です。
  CDレスモデルをお使いの方は、別売の光学ドライブを使用してください。
- ハードディスクのデータ消去を実行する前にBIOSセットアップユーティリティの設定値を工場出荷時の状態に戻してください。
  工場出荷時の設定値に戻す方法については、『活用ガイド』、または『活用ガイド　ハードウェア編』の「システム設定」をご覧ください。
- RAIDモデルにおいてハードディスクのデータ消去を行う場合、ミラーリングが正常に設定されている必要があります。ハードディスクのデータ消去作業に入る前にディスクアレイ情報を確認してください。
- ディスクアレイ情報の確認、およびディスクアレイの状態変更方法については、『活用ガイド』の「「Intel® Rapid Strage Technology」について」にある「再セットアップ前の注意事項」をご覧ください。

消去にかかる時間は、消去方式やハードディスクの容量、モデルによって異なります。
また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

・ かんたんモード(1回消去)
  ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。

・ しっかりモード(3回消去)
  米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去を行います。
  ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みを行い、3回消去を行うことで、より確実に消去できます。ただし、3回書き込みを行うため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。

・ しっかりモードプラス(3回消去+検証)
  米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去を行います。
  「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みを行い、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去を行うことで、より確実に消去できます。

なお、この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。データの復元が完全にできないことの証明が必要な場合は、NECフィールディング株式会社に有償のデータ消去を依頼してください。

NEC フィールディングホームページ
  URL: http://www.fielding.co.jp/

ハードディスクのデータを消去する

1 **本機の電源を入れる**

2 **電源ランプがついたら、すぐにWindows XP用の「アプリケーションディスク」を光学ドライブにセットする**

3 「Windows再セットアップ」画面が表示されたら、「ハードディスクのデータを消去する」を選択し、【Enter】を押す

4 「ハードディスクのデータを消去します。よろしいですか？」と表示されたら、「はい」を選択し、【Enter】を押す

5 データを消去するハードディスクを選択し、「次へ」ボタンをクリック

6 ハードディスクのデータ消去方式を選択して、「実行」ボタンをクリック

7 「ハードディスクのデータ消去を開始しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

ハードディスクのデータ消去が始まります。しばらくお待ちください。

8 「ハードディスクのデータ消去が完了しました。」と表示されたら、光学ドライブからWindows XP用の「アプリケーションディスク」を取り出し、【Enter】を押す

以上でハードディスクのデータ消去は終了です。

活用ガイド

再セットアップ編

PC98-NX シリーズ

Mate
Mate J
VersaPro
VersaPro J

（Windows XP Professionalインストールモデル）

初版　2009年12月
NEC
853-810602-376-A
Printed in Japan

810602376A